

1村1自然エネルギー プロジェクト

平成28年 5月18日



団体名 木曾町
職氏名 木曾町長 原 久仁男



木曾町は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区 分	摘 要
取組の名称	日帰り温泉施設「御嶽明神温泉 やまゆり荘」 木質バイオマス（薪ボイラー）導入事業
取組の主体	木曾町
取組の区域	木曾町
取組の構成団体名 (複数の者で構成する場合)	—
団体設立年月日	— 年 — 月 — 日
普及する自然エネルギーの種別等	木質バイオマス（薪ボイラー）
取組の目的	日帰り温泉施設の源泉加温用に薪ボイラーを導入し、地域資源である木質バイオマスを有効利用すると共に、化石燃料の削減と二酸化炭素排出を抑制し、環境負荷の軽減を図る。
地域関係者との協働の内容	開田高原保健休養地管理組合及び、町内林業事業者等より地元材の供給を受ける。
プロジェクトの部門	①地域づくり、②ソーシャルビジネス、③開発研究、④その他（場作りなど）
取組（事業）の段階	①構想段階 ②実施段階 ③発展段階
取組の内容	<p>平成4年に開館した「明神温泉 やまゆり荘」は、豊かな自然環境の中で健康で明るいまちづくりの推進拠点となる日帰り温泉施設として、年間約5～6万人と多くの利用者があり、地域産業の振興に貢献している。</p> <p>現在は灯油ボイラーを用いて源泉を加温しているが、新たに薪ボイラーを導入してメインに加温を行い、補助的に石油ボイラーを併用稼動することで化石燃料使用量を削減し、木質バイオマス熱利用の拡大を図る。この取組みにより、カーボンニュートラルな特性を生かしたCO₂排出削減、環境負荷軽減が図られ、地球温暖化防止に貢献をする。</p> <p>薪の供給には、蓄積量の増した町内の森林資源を積極的に活用し、間伐材や残材など未利用資源の有効活用と地域流通可能な市場をつくり、雇用の促進と森林整備による木の生長促進を図る。また、地域木材の新たな付加価値を生み出し、森林資源の有効活用による6次化産業と雇用創出など、山村地域の活性化に貢献することが期待できる。</p>

事務局担当者の 連絡先	担当者所属	環境水道課	氏名	奥原 教裕
	TEL	0264-22-3320	email	kankyo_ct@town.kiso.lg.jp
ホームページ	(URL を記載)			
備 考				

- ※1) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所の下線を引いてください。
- ※2) 記入欄が不足する場合は、必要に応じて適宜広げて記載してください。
- ※3) 添付書類として、①組織規約・構成員名簿（市町村不要。）、②具体的な取組内容が分かる資料（スキーム・ホームページ掲載用の写真）、③その他参考資料を添付してください。

